

人材育成学会第5回研究会

「投資としての企業内研修とその効果・評価のあり方」
～ 教育投資効果の測定法を考える ～

企業内研修が、大きくそのポジションを変えてきています。従来、企業内研修は、企業における商品、サービスの知識、制度理解等業務を行うために必須の研修を中心に実施されてきました。現在、研修は、その役目に加えて、将来の幹部候補生や新規事業を立案する人材を選抜・育成するといった経営戦略上、重要な役割を担うようにもなってきました。前者の意味での研修は、『管理費』の一項目として、教育研修費、或いは福利厚生費的な費目のもとで運用されてきましたが、後者の役割を研修が担うようになると、『管理費』の一項目ではなく、正に、『投資』として認識しなければならなくなってきています。更に、企業の経営幹部も、「効果の定量化」や「ROI」の必要性に気が付き始めており、研修のあり方も大きく変わる可能性を含んでいます。

しかしながら、現実の問題として、投資としての効果を測定するための仕組みは勿論、未だ研修担当者も投資として研修を受け止める意識が少ないのが実情であり、企業経営とのギャップが発生しているのが現場の姿となっております。

このような状況を受け、企業内研修の効果をどのように測定していくのか、特に、人材を育成するという視点から経営を左右する人材を選抜するという視点まで、どのような方法・ツールが活用できるのか、その具体的導入事例も踏まえて、「投資としての企業内研修とその効果・評価のあり方」というテーマで、あるべき測定方法の検討とその取組み状況を取り上げます。

今回は、人材コンサルタント3社をお招きし、“企業内教育の効果とその測定・評価のあり方”について事例を報告していただきます。さらに指定討論者として、一橋大学大学院、守島基博教授にご登壇いただき、討論を深めてまいります。

研究会企画担当 寺嶋 一郎 (有限会社シンクロキャリア/前日立トリプルウィン企画開発部)

二村 英幸 (株式会社リクルートマネジメントソリューションズ組織行動研究所)

日 時 2005年 2月20日(日) 14:00～17:30

会 場 (学)産業能率大学 代官山キャンパス

プログラム

13:30 —————開場、受付

14:00—14:10

【司会】 寺嶋 一郎 (有限会社シンクロキャリア/前日立トリプルウィン(株)企画開発部)

14:10—16:15

【報告1】酒井 崇倫 氏 (株式会社リクルートマネジメントソリューションズ SIDビジネスユニット長)
「某通信会社における組織変革と成果測定の事例」

【報告2】菊山 博之 氏 (有限会社アウトフロント代表取締役/前日本マクセル(株)人材開発部門責任者)
「研修効果測定に関する経験を語る」

【報告3】古沢 哲也 氏 (ワトソンワイアット株式会社 コンサルタント)
「人への投資のバリエーションと成功させるヒント」

16:15—16:45

【指定討論】 守島 基博 氏 (一橋大学大学院商学研究科 教授)

16:45—17:30

【全体討論】

(17:40—18:40懇親会)